

経営比較分析表（令和3年度決算）

愛媛県 松山市

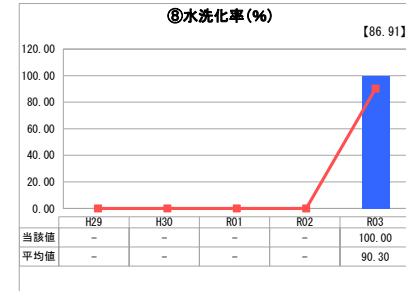
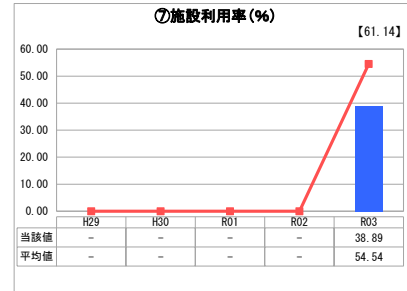
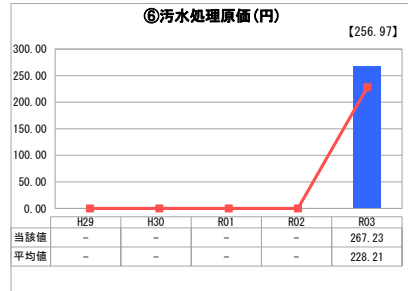
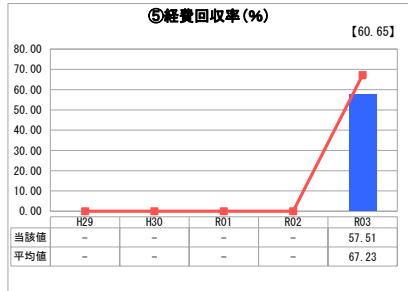
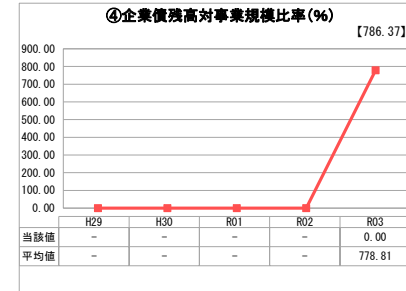
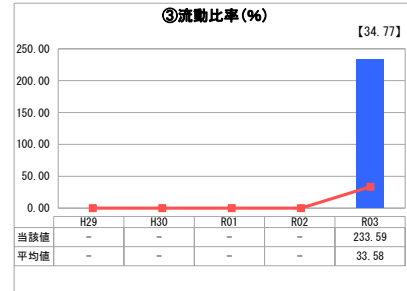
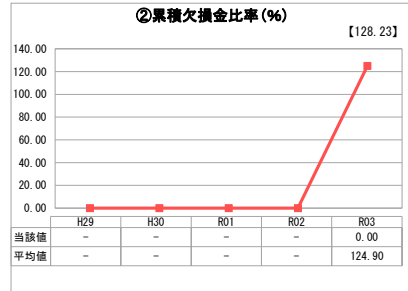
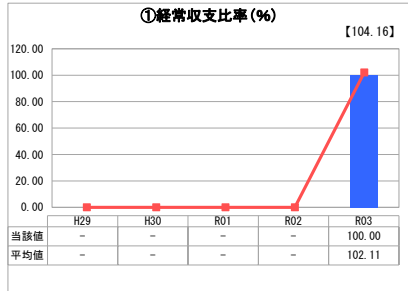
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	98.12	0.04	87.73	3,380

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
507,211	429.35	1,181.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
203	0.18	1,127.78

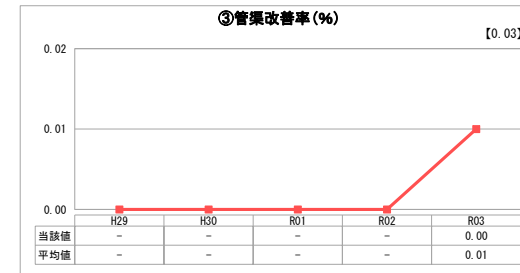
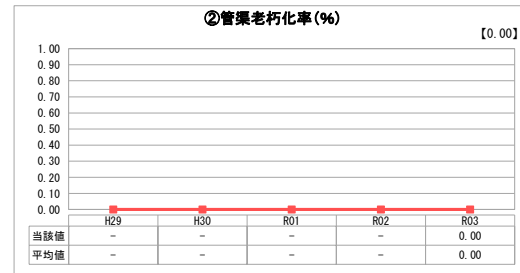
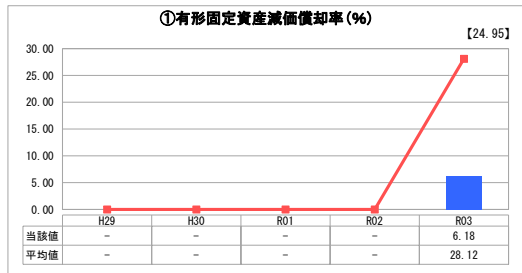
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市農業集落排水事業は、令和3年度に地方公営企業法の全部適用を行いました。前年度まで法非適用事業であったため、今回の経営比較分析表では、令和2年度以前の数値は空欄になっています。

本事業は、事業規模が小さく、事業運営費の不足分を一般会計から繰り入れていた状況であるため、「経常収支比率」は100%、「累積欠損金比率」は0%となっています。

また、昭和50年代に整備して以降、大規模な投資を行っておらず、企業債の借入も行っていないため、「企業債残高対事業規模比率」は0%、「流動比率」は、233.5%で類似団体に比べ大幅に高くなっています。

一方、「施設利用率」については、施設の利用者が減少してきていることから、類似団体に比べ低くなっており、本事業の対象地区が限定されているため、この傾向は今後も続く見込んでいます。

2. 老朽化の状況について

近年、管渠に係る更新は実施しておらず、「管渠改善率」は算出されていません。

令和2年度に施設の機能診断調査を実施し、最適整備構想を策定したため、その構想に基づき適切な修繕・更新等を実施していきます。

全体総括

本事業は、事業の規模が小さく、事業運営費の不足分を一般会計から繰り入れていた状況です。

今後は、人口減少による使用料収入の更なる減収や、施設の老朽化が進むことが予想されるため、最適整備構想に基づく必要な投資と財政シミュレーションを行うことで、持続可能な事業経営を行っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。